

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号440

発生場所 トイレ

発生場所（その他）

関連したもの その他

精神・意識障害の有無

なし

発生内容の分類

転倒
怪我・火傷

リスク

C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク

発生内容

病室内トイレにて、水を流すため患者が背中側にあるレバーを下げようとして、バランスを崩し転倒して、ついた腕を骨折した。

概要

患者は80歳代。右大腿部頸部骨折術後3日目。移動は車いす。移乗時はゆっくりと軽介助で可能。認知症なく、足の受傷前は自立。スタッフがトイレに連れて行き、その場を離れていた。トイレよりコールがあり訪室すると患者が便器の右側で扉に足を向け、仰向けに横たわっていた。水を流すレバーを探していたら、足が滑って転倒したとのこと。この日の午前中には上手くできたので、出来と思ったとのこと。

要因

トイレの水を流すレバーの位置が、便器の蓋を開けて便器に腰を掛けると、右手側の蓋の後ろにある。便座から立ってみても、レバーは開いた蓋で隠れて見えない場所にあるため、わかりづらい。また、座ったままで水を流そうとすると、背中の中後ろになるので、年配者には届きにくく、無理をすると便座から落ちる可能性は十分考えられる。

対策

年配者や少しでも介助の必要な方には、自分で流さずコールしてもらうように説明する。

参照